



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 日新
 コード番号 9066 URL <http://www.nissin-tw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 筒井 博
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石山 知直
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3238-6631

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	141,226	7.2	2,944	2.3	3,388	7.0	2,108	25.7
25年3月期第3四半期	131,750	△3.1	2,877	△0.2	3,165	△1.9	1,677	△3.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,726百万円 (122.5%) 25年3月期第3四半期 2,124百万円 (231.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	21.36	—
25年3月期第3四半期	17.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	109,140	46,108	41.0
25年3月期	102,236	41,625	39.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 44,764百万円 25年3月期 40,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	194,000	10.7	4,100	19.8	4,200	18.0	2,500	36.2	25.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 上海高信国際物流有限公司、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	101,363,846 株	25年3月期	101,363,846 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,466,872 株	25年3月期	2,797,617 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	98,732,795 株	25年3月期3Q	98,249,476 株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含んでおります。
(26年3月期3Q 1,052,000株、25年3月期 1,392,000株)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(セグメント情報等)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当四半期の経営成績

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日 以下「当第3四半期」)における世界経済は、中国や一部アジア新興国では成長率の鈍化が見られたものの、米国経済の回復が継続したことに加え、欧州においても底入れの兆しが現れるなど、回復基調をたどりました。日本では、政府の金融・財政政策を背景に、円高の是正や株価の上昇が進み、緩やかな景気回復が続きました。

このような状況下、当社グループは海外23ヶ国に及ぶネットワークと高度なIT対応力を活かし、顧客のグローバル調達、SCM(サプライチェーンマネジメント)に応えるグローバル・ロジスティクス・サービスへの注力を加速させました。海外では中国・東南アジア・メキシコ等の成長地域を中心に事業機会の拡大に努めました。メキシコ・マレーシアでの自動車産業向けJIT(ジャストインタイム)納入倉庫の建設をはじめ、タイでの低温輸送サービスの拡充や東南アジアにおける大メコン圏広域物流網の整備を進めました。中国・インドでは事業体制の強化に努め、2013年10月、持分法適用会社であった上海高信国際物流有限公司(中国・上海市)を連結子会社化しました。国内では、新商品として東南アジア向け食品専用の海上冷凍混載輸送サービスを開始したほか、業務の高品質化やCMS(キャッシュマネジメントシステム)の利用拡大によるグループ資金の効率化に取り組みました。なお、AEO制度において、2013年12月、認定通関業者に加え、セキュリティー管理と法令遵守の体制が整備された保税業者として、横浜税関から特定保税業者の認定を受け、より高品質な物流サービスの提供が可能になりました。

当第3四半期は、アジアをはじめ、米州・中国において、物流事業が引き続き順調に推移し収益に寄与しました。日本では、旅行事業が北米・アジア向け業務渡航を中心に順調だったほか、日中関係緊張の影響等により低調だった物流事業も、夏場以降は回復基調で推移しました。

これらの結果、当第3四半期における売上高は前年同期比7.2%増の141,226百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期比2.3%増の2,944百万円、経常利益は前年同期比7.0%増の3,388百万円となり、四半期純利益は、前年同期比25.7%増の2,108百万円となりました。

② セグメントの業績

イ. 物流事業

日本では、輸出海上貨物は、四輪完成車の取扱いは減少しましたが、海外での自動車生産の増産や移転に伴い、北米・アジア向けの自動車関連部品やメキシコ向け設備の取扱いは順調でした。輸入海上貨物は、製材・合板関係などの好調な取扱いが続いたほか、アパレル、雑貨、家具の取扱いが底堅く推移するなど、全般的に順調でした。

輸出航空貨物は、アジア・北米向け自動車関連部品の取扱いが好調だった以外は、電子部品・部材をはじめ全般的に低調な取扱いでしたが、業務効率化により収益の落ち込みを補いました。輸入航空貨物は、切花・球根やアパレルの取扱いは堅調でしたが、北米発の生鮮は産地天候不良などの影響により取扱いが伸び悩みました。

倉庫・港湾運送では、前半は、一部倉庫で稼働率の低下が見られたほか、ターミナル事業は日中貿易減少の影響を受け低調でしたが、夏場以降は倉庫・港湾運送ともに回復が進みました。国内輸送は、ソーラーパネルの配送業務が順調に推移しました。

海外では、米州においては、自動車関連部品の取扱いが安定的に推移したのをはじめ、メキシコでの工場設備輸入・据付業務が収益に寄与するなど、堅調に推移しました。欧州では、家電関係の取扱い低迷が続いたことに加え、自動車関連部品の取扱いも落ち込み、事業の再構築に取り組んでおりますが、厳しい状況でした。アジアでは、自動車関連部品を中心に航空・海上輸出入の取扱いがともに順調だったほか、タイ・マレーシア間でのトラック輸送が貢献し、収益が伸長しました。中国では、引き続き電子部品・部材の航空輸出入が堅調に推移したことに加え、自動車関連部品の取扱いが寄与するなど、収益を押し上げました。

この結果、売上高は前年同期比5.5%増の101,317百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比3.6%増の2,127百万円となりました。

ロ. 旅行事業

北米、中米、アジア向け業務渡航をはじめ、大型団体旅行の取扱いが順調だったことに加え、上半期、日中関係緊張の影響により低迷した中国向け業務渡航、団体旅行も、10月以降は回復基調で推移しました。

この結果、売上高は前年同期比12.2%増の39,205百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比17.1%増の379百万円となりました。

ハ. 不動産事業

京浜地区などで展開する商業ビル、商業用地の不動産賃貸事業は引き続き安定した収益を確保しましたが、駐車場事業は低迷が続きました。

この結果、売上高は前年同期比12.3%減の703百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比10.3%減の442百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加や受取手形及び売掛金の増加、株式市場価額の上昇に伴う投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ6,904百万円増加の109,140百万円となりました。

負債は、社債及び賞与引当金などが減少しましたが、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2,420百万円増加の63,031百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4,483百万円増加の46,108百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、従来持分法適用関連会社でありました上海高信国際物流有限公司は、株式の追加取得にともない、当社の特定子会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,929	13,784
受取手形及び売掛金	24,557	26,190
有価証券	87	87
原材料及び貯蔵品	66	53
その他	4,703	4,872
貸倒引当金	△235	△260
流動資産合計	41,109	44,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,708	51,683
減価償却累計額	△31,939	△34,146
建物及び構築物(純額)	17,768	17,537
機械装置及び運搬具	11,699	12,419
減価償却累計額	△9,183	△9,808
機械装置及び運搬具(純額)	2,515	2,611
土地	16,573	16,714
その他	3,915	4,950
減価償却累計額	△2,543	△2,812
その他(純額)	1,371	2,138
有形固定資産合計	38,229	39,001
無形固定資産		
のれん	630	510
その他	1,971	2,750
無形固定資産合計	2,601	3,261
投資その他の資産		
投資有価証券	14,185	16,096
その他	6,826	7,020
貸倒引当金	△569	△820
投資損失引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	20,295	22,148
固定資産合計	61,126	64,411
資産合計	102,236	109,140

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,180	11,876
短期借入金	11,965	13,002
1年内償還予定の社債	700	150
リース債務	249	247
未払法人税等	510	842
賞与引当金	1,587	999
役員賞与引当金	—	15
その他	6,156	6,967
流動負債合計	32,348	34,101
固定負債		
社債	1,100	1,050
長期借入金	20,171	20,116
退職給付引当金	1,290	1,371
役員退職慰労引当金	131	116
その他	5,568	6,275
固定負債合計	28,262	28,930
負債合計	60,611	63,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,365	4,392
利益剰余金	29,479	31,065
自己株式	△590	△521
株主資本合計	39,351	41,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,334	4,595
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△1,855	△865
その他の包括利益累計額合計	1,478	3,730
少数株主持分	794	1,344
純資産合計	41,625	46,108
負債純資産合計	102,236	109,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	131,750	141,226
売上原価	112,190	119,775
売上総利益	19,559	21,451
販売費及び一般管理費	16,682	18,506
営業利益	2,877	2,944
営業外収益		
受取利息	35	50
受取配当金	232	262
持分法による投資利益	190	252
為替差益	128	196
その他	198	343
営業外収益合計	785	1,104
営業外費用		
支払利息	371	345
貸倒引当金繰入額	—	281
その他	125	32
営業外費用合計	497	660
経常利益	3,165	3,388
特別利益		
段階取得に係る差益	—	119
固定資産売却益	23	35
投資有価証券売却益	—	15
特別利益合計	23	171
特別損失		
子会社整理損	—	127
環境対策費	405	104
減損損失	—	92
固定資産除却損	13	17
投資有価証券評価損	174	10
固定資産売却損	—	7
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	593	359
税金等調整前四半期純利益	2,595	3,200
法人税、住民税及び事業税	610	1,220
法人税等調整額	206	△234
法人税等合計	816	986
少数株主損益調整前四半期純利益	1,778	2,214
少数株主利益	101	105
四半期純利益	1,677	2,108

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,778	2,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	1,262
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	151	1,158
持分法適用会社に対する持分相当額	1	90
その他の包括利益合計	345	2,512
四半期包括利益	2,124	4,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,019	4,597
少数株主に係る四半期包括利益	104	129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	96,018	34,929	802	131,750	—	131,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	125	324	459	△459	—
計	96,028	35,055	1,126	132,210	△459	131,750
セグメント利益	2,053	323	493	2,871	6	2,877

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	101,317	39,205	703	141,226	—	141,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	151	232	392	△392	—
計	101,325	39,357	935	141,618	△392	141,226
セグメント利益	2,127	379	442	2,949	△4	2,944

(注) 1. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、子会社が保有する建物について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては92百万円であります。